

第1回ラウンドテーブルの運営要領

テーマ「東町での情報デリバリーのあり方を考える」

1. 開催案内に記載した内容

これまでの団体や地域活動を進めるうえでも課題のひとつとして情報の伝達の難しさがありました。そして協議会発足後も協議会の理解を深めていただくことに苦慮しています。

地域コミュニティとして、情報デリバリーの担い手不足の課題やよりていねいな情報発信で知りたい情報がすぐに伝わるまちづくりでのあり方など東町ビジョン実現に向けてラウンドテーブルを開催し、より具体的な施策を話し合ってくださいと考えています。

(参考) 設立趣意書に記載された協議会の情報交流に対する姿勢

協議会は、東町を最も良く知る住民が東町のことについて自分たちで考え、話し合い、ベストを見出し、施策として実施してゆく仕組みです。

また、市の部局間の縦割り行政と全地域均一施策及び東町諸団体の連携不足がもたらすさまざまな弊害に対して、住民ニーズのボトムアップ、連携強化、そしてワンストップサービスを実現する組織でもあります。

設立後は、全ての住民の生活する自治会・管理組合を縦軸に、地域の諸団体を横軸に、それらの全てが参加する組織と、住民のニーズや気持ちを尊重する意思決定が出来る仕組みを構築し、段階的に発展、強化させていきます。

2. 本日のラウンドテーブルの進め方

目的:「東町の中の情報が必要な人に十分行き渡るための場所・設備、人材をどのように組み合わせれば、効率的な情報デリバリーの仕組みとなるか」その答えを導き出してください。

- (1)出席者は、人数調整のため、グループに分かれて頂きます。事務局(記録係)も加わります。
- (2)各グループは、用意した資料を最初に読み、東町の広く集められた意見を認識頂きます。
- (3)午前の理事会で広報部会長が説明した「東町の広報についての実態調査」も参考に。
- (4)話し合った内容を途中で、各グループから順番に発表して頂きます。
- (5)後半に入る前に協議会のかかえる問題と対策試案を説明後、全体討議をして頂きます。
- (6)後半に話し合った内容を、次の具体的な活動につなげるため最後にとりまとめます。

3. 話し合うテーマと材料

(1)前半にグループ毎に話し合ってくださいのための資料

資料は、いずれも地域自治準備委員会時代に、テーマ毎に①現状把握、②ビジョンと課題の策定、③各自治会の意見照会という段階毎に住民の皆さんから頂いた意見(抜粋)です。

- ①「情報発信と交流」: 東町の住民が求めているものは何か、諸団体のデリバリーの方法、情報の流れの良し悪し、今後の情報デリバリーのあるべき形などさまざまな意見でした。
- ②「担い手」: 東町の情報受発信の担い手は十分か、諸団体は担い手問題で困っていないのか、住民の中に担い手を引き受ける人はいるのかなどさまざまな意見でした。

(2)後半に全体討議で話し合ってくださいテーマ

「情報デリバリーの場所・設備、担い手を組み合わせた効率的な仕組み作り」とします。

現在があるべき形になっていない原因・理由をトコトン掘り下げてください。真の原因・理由が見えたら、解決策は見い出せると思います。

情報発信と交流…地域自治準備委員会時代にRTなどで集まった意見(抜粋)

広報誌の役割と課題(9)

- ・広報「ひがしおか」の存在は知っていたが、読んでいなかった。PTA の役員になって初めて関心をもった。それが実情だと思う。自分の生活に直接関わらないことには関心は持ちにくい。
- ・地域の行事については「ひがしおか」新聞でいろいろとで発信してくれるのでわかりやすい。
- ・全戸配布の新聞「ひがしおか」は東町だけのすばらしい活動。
- ・最近の「ひがしおか」新聞はとても素晴らしくて地域の情報発信の役目を十分に果たしていると思う。これからもがんばってほしい。
- ・新聞「ひがしおか」に、4 団体以外のもっと多くの団体の情報も載せていくべき。いかにして多くの人に読んでもらうかを考えていかなければならない。
- ・広報「ひがしおか」編集委員会に各団体の情報が十分に集まっていない。
- ・新聞を通じた地域情報の交換。
- ・各団体の性格がわかる様に広報をテーマ型か地縁型のどちらかでやってはどうか。
- ・各地域に才能のある人がたくさんいると思うので地域の音楽家によるチャリティコンサートをしては。

実は地域のことを知らない(7)

- ・各団体の活動内容が意外と知られていない。
- ・一般の人は、どんな団体があるかよく知らない。
- ・各団体の活動内容や役割を知ってもらうことが大切。連協の役員ですら、連協に参加していない団体の活動はあまりわからないし、知る方法がない。
- ・地域団体の活動内容や予算、予算については自主財源なのか市からの助成金なのかなどがわからない。活動内容がわからない中で参加してくださいと言われても参加しにくい。
- ・ダディーズは子ども達のために色々な活動をしているが、新聞委員であっても、ダディーズの活動の一部しか知らない。この1年間ダディーズを取り上げたことは一度もない。本当にそれでよかったのか。ダディーズは氷山の一角で同じような団体が他にも多くあるのではないか。
- ・東町には数えると 30~40 程度諸団体があるがどの団体も PR してこなかった。だから、どの団体も次の世代が集まらなくて困っているのではないか。今はよいけれど、間もなく人材が枯渇する。
- ・清掃など、地域の行事が十分に PR できておらず、いつも参加する人だけの取組みになっていることは問題だと思う。

発信の必要性(7)

- ・情報発信がもっと必要。
- ・情報は相互発信が理想だが、新聞、ホームページは一方通行、読まない人には届かない。
- ・街の「しくみ」「動き」が見えない。メディアと組織を使った情報公開が必要。
- ・地域、団体の情報の発信のあり方が大切。(どこに発信してよいのかわからない)
- ・PR 不足ということもあるが皆の関心が向いてなく理解されない。PTA の活動も同じことがいえる。
- ・住民、特に高齢者、子育て世代、障害者など弱者のための情報発信であり、団地間の互惠、互習のための情報発信、双方向の情報発信の実現。
- ・住民に公共性のある活動とそうでない活動の区別を知ってもらう。

交流の場所の重要性(7)

- ・コミュニティルームは活用しやすく、様々な趣味に取り組める。
- ・街角広場等地域でのつながりづくりが大切
- ・街角広場に子どもがいれば、お母さんたちも入りやすいかも。
- ・街角広場は相互交流の情報。ひがしおか新聞は一方通行の情報。
- ・街角広場を情報発信拠点に。有効利用して情報発信していくべき。
- ・若い人(子育て中の母親など)の意見を聞いて、街角広場を使いやすくする。オープンカフェ。
- ・街角広場が、子育て情報など、まちの情報が集まり、まちのことを考える場になってほしい。

「ビジョン(将来像)と取り組み課題」を策定するため提案を求めた(地域自治準備委員会)

「情報発信・交流」 A案

ビジョン案と新しい取り組み案	ビジョン	<p>○いつでも、だれでも、まちの情報を知ったり、発信したりできる、双方向に情報が流通するまち。</p> <p>○現代的・都会的な作法で、プライバシーとご近所づき合いを両立させる、東町流お付き合いのススメ。</p>
	現在の取り組み	新聞ひがしおか、ひがしまち街角広場、夏祭り、東町フェスタ
	新しい取り組み(1)	<p>新聞ひがしおかのリニューアル</p> <p>若い世代の参画。団体の活動報告だけでなく、行事への参加を促す予告記事や企画ページの充実等</p>
	新しい取り組み(2)	<p>出会いの場、気楽に話せる場づくり</p> <p>交流サロン、ラウンドテーブルなど</p>
新しい取り組み具体案	<p>○参加者が対等な立場で話せる場(席に上下のない円卓＝ラウンドテーブル)を定期的に持つ。</p> <p>○テーマは自由。話したいこと、聞きたいこと、面白かったこと、気になっていることなど、まちの話題から相談事まで何でも。皆が話すのを聞いているだけでもOK。</p> <p>○ルールづくり(相手の発言を否定しない等)や、参加者を“お客さん”にしない運営の工夫(発言者を指名しない、準備・片づけは全員とする等)をする。</p>	

「情報発信・交流」 B案

ビジョン案と新しい取り組み案	ビジョン	<p>開かれた町、公平で公正な町作り</p> <p>モンスターを生み出さない、置いてきぼりを生み出さない町作り</p>
	現在の取り組み	<p>情報は一部特定者の発信。</p> <p>大半が、一方通行の情報発信。</p> <p>東町に流布する情報が果たして公平なものか検証が必要。</p> <p>情報の双方向性が住民にとりどの程度担保されているか検証する。</p>
	新しい取り組み(1)	<p>認定の通信員制度</p> <p>情報開示オンブズマン制度</p>
	新しい取り組み(2)	インターネットの活用による、オープンな情報開示に仕組み作り

「ビジョン作りと課題の策定」作業における各自治会の最終意見
…地域自治準備委員会時代の意見集約

ビジョン「情報発信・交流」

「ていねいな情報発信で知りたい情報がすぐに伝わる東町」

■各自治会からの意見

追加する取り組み	最優先で対処する取り組み
<p>○自治会単位の広報活動</p> <p>○広報「ひがしおか」に一般の町民の投書、意見などを載せる。</p> <p>○4団体以外の一般の若い方が誌面をいっしょに作っている感もてるような取り組みをすると読者が広がるのでは。</p> <p>○東町で活動する各種団体の活動内容を知ってもらう。 …東町では多くの団体が活動しているが、活動内容があまり知られていないように思う。(新年祝賀会での各団体からの挨拶で初めて活動内容がわかった団体が多かった。) まず、多くの人に活動内容を知ってもらい、支援や参加を呼びかけるべきではないか？ 体育祭や文化祭を通じてPRの場を設けたり、独自又は合同でイベントを開催して認知度を上げるようにしたらどうか？</p> <p>○東町で知っていないことがいろいろあることが分かった。周知すべきことが多々ある</p> <p>○「第1回まち歩き」は完成度の高い企画でとてもよかった。気づいていないことに気づいたし、知ること、関心を持つことが大事であると再認識した。災害時非常食の試食を通じて、こうした備えがあることも認識した。</p> <p>○高齢者の方の配慮も。</p>	<p>○広報「ひがしおか」の充実。</p> <p>○広報「ひがしおか」ホームページ、ブログの編集体制の強化</p> <p>○ホームページの充実</p> <p>○今ある活動のアピール(現在よくできている)</p> <p>○東町で活動する各種団体の活動内容を知ってもらう。</p> <p>○現在実施している広報活動(ひがしおかとか各自治体の広報紙)の充実</p> <p>○実は地域のことを知らない</p> <p>○高齢者の方の配慮も</p>

■東町が今後取り組むべき課題

- ・広報ひがしおか、ホームページ、ブログの編集体制の強化
- ・メルマガの発行
- ・行事の場での広報活動
- ・街角広場の活性化

「担い手」作り…地域自治準備委員会時代にRTなどで集まった意見(抜粋)

担い手の育成の場、きっかけ作りの必要性(15)

- ・何をするにしても担い手の候補者を増やすことが第一
- ・個人情報保護法により担い手を探す手段が少ない、口コミで探す他ない
- ・地域の事務所があればよい。(地域の連絡先など)
- ・東町会館などに、ハブ(解放区)をつくり、若い人との交流の場とする。
- ・活動したい人がどこに連絡したらよいのかがわかるようにしたい。
- ・新たな担い手の発掘が必要。また、地域デビューのしかけづくりが必要。
- ・地域の活動(盆踊り、文化祭、運動会等)を活発にすれば次の世代が育つ。
- ・役員の若返りや担い手をどうすればよいか。スポーツ大会等で探してはどうか。
- ・楽しい行事を増やそう。(参加も手伝いも)
- ・土日や短時間でできる気軽に楽しい「担い手」のあり方はないか。
- ・空いた時間(30~60分)や時間を拘束しないようなしくみはできないか。
- ・清掃は楽しいということを伝える体験会を催してはどうか。体験会には子どもにも参加してもらおう。
- ・高齢者を活用、60代はまだまだ元気であり、70代は社会奉仕の運動に入ると元気になると思う。
- ・年金受給者は担い手であるという意識を持つようにしてほしい。
- ・健康であれば何かに参加してほしい。

担い手探しが難しい理由と原因(9)

- ・各種団体の活動イメージの固定化が参加を拒んでいる。柔らかなイメージを伝えたい。
- ・各団体に入りにくい(参加を阻む)雰囲気があるのかもしれない。
- ・一人で複数の団体の役員を兼ねていることが問題。
- ・地域団体の活動に対して先入観があり、関わると長時間拘束されるなど大変だという不安がある。
- ・活動したいと思っても名乗りを上げるには勇気がいる
- ・担い手の構成と資質について。構成は年代と男女比と人数。資質は健康(心身)、行動力(世話好き)、判断力が必要だと思う。
- ・担い手難の原因に既存の担い手が残りたいという意識がある
- ・PTAは就労率が高くて、ボランティアをしたくてもできない状態。
- ・子育て、仕事、家事に追われていると、よくないとは思いながらも、地域のことはリタイアした世代の方をお願いしたいという甘えを持ってしまう。いつまでも年配の人に担ってもらってはだめ。

担い手が不足ないし将来不足する懸念(3)

- ・地域活動の担い手不足、高齢化が問題。新しい担い手の発掘や参加しやすいしくみづくりが必要。
- ・これから新しい活動やもっと街に貢献していくことを真摯に考えた時、今の人材でいけるか不安。
- ・自治会の現状はそれなりに担い手はあるが、もう少し若い方をお願いしたい。

担い手になったときのメリット(3)

- ・忙しくても活動に参加している理由は楽しいから。もっとインフォーマルな気軽な活動として伝えたい。
- ・ボランティア活動はしんどい時もあるが、楽しさがある。
- ・多くの人と会えるまち(地域活動に出れば、これだけ多くの「人」を知れる「まち」も珍しい!!)

「ビジョン(将来像)と取り組み課題」を策定するため提案を求めた(地域自治準備委員会)

「担い手」 A案

ビジョン案と新しい取り組み案	ビジョン	「誰もが担い手になる」、「人は皆、助けられたり、助けたり」の精神で安心・安全の町作りの担い手を作る。年齢・性別不問、只、明るく前向きに考え行動する人を担い手として歓迎する
	現在の取り組み	同じ顔があちこちに出没、しかも高齢化した顔が多い。 担い手として最も適している中壮年男性が地域活動に参加することが少なく、ボランティア精神を育む機会もなく、今後の担い手不足が懸念される。 一方、70歳を超える高齢者が地域の担い手の中心となっており、現実的には60代後半以降の人材に頼らざるを得ない。
	新しい取り組み(1)	60歳代後半から70歳代前半を担い手の中心と考え、高齢者が担うことの出来る作業を明確にする。そうした人を担い手としての的を絞った発掘作業と仕組み作り
	新しい取り組み(2)	中壮年世代を担い手として必要とする作業に限定して、中壮年世代にボランティア精神の啓蒙と体験的参加機会となるようなイベントの企画・実行
新しい取り組み具体案	<p>必要な作業をいくつかのタイプ別に具体的に区分し、その作業の概要や担って貰う作業を文書化する(見える化)。必要となる担い手の定義を明確にした上で必要とされる担い手を募集する。</p> <p>従来のような活動について、現在の担い手は後方支援に回り、新しい担い手候補に一任する。旧来型の活動を押しつけない、新しい発想を許容することでモチベーション Up となり、育成出来る。</p> <p>新しい担い手を育てるためには、諸団体の役員の新陳代謝が進む仕組み、例えば、役員任期の制限の強化などが同時並行的に実行する必要がある。</p> <p>担い手は、一朝一夕では得られない。今現在の担い手の活躍の場作りと将来の担い手の育成と必要。</p> <p>一方、担い手は若者との固定観念から脱却し、「誰もが担い手になる」と考え、担い手を必要とする分野毎に担い手の要件を拡げて定義し必要な担い手を育成してゆく。</p> <p>GHの「シニア連絡網」に続く「ガーデンヒルズ・プラス」(ダディーズ GH版)の誕生が Best Model と考えるので、これを教材とする。現在の活動状況と「ガーデンヒルズ・プラス」誕生秘話を PR する</p>	

「担い手」 B案

ビジョンと新しい取り組み	ビジョン	自分にできることを、できる時に、できる範囲で、助けを必要としている人に届けられる、お互いさまの、対等なお付き合い。 新たな発想や面白い提案歓迎！チャレンジや失敗を受けとめる懐の広い東町。
	現在の取り組み	行事等の実行委員の公募(公園をよくする会、東町フェスタ) 自治会役員の公募(UR)
	新しい取り組み(1)	新たな人が活動に参加しやすい環境づくり(これまでの運営方法の見直し、人材登録の仕組みづくり等。)
	新しい取り組み(2)	東町の事務所の開設(事務局の作業場や備品等の保管場所としてだけでなく、いろんな人が集まり、情報が集まってくる場となるような運営をする。)
具体化	<p>担い手の発掘・育成を担う部門として、東町全体の事務局を設立。人材のコーディネートができる人など、専門的な人材の養成も担う。</p> <p>東町人材バンク(できることや活動可能な時間帯などを登録)をつくり、各種団体や住民のニーズに応じて、マッチングする。ポイント制の導入も検討。(→活動の動機づけ。また、支援の必要な人が気兼ねなく声をあげられるように。)</p>	

「ビジョン作りと課題の策定」作業における各自治会の最終意見

…地域自治準備委員会時代の意見集約

ビジョン「担い手」: 日常のコミュニケーションから信頼関係が生まれ、自然と担い手が育まれる地域

■各自治会からの意見集約

追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
<p>○結論として、本人の積極性次第です。</p> <p>○若い世代は自治会行事に参加して町の良さを知る</p> <p>○若い人は活動に参加できれば参加してもよいと思っているが仕事、育児に忙しい</p> <p>○新しい担い手の発掘や参加しやすい仕組みづくりが必要…時間に自由がきく高齢者が担い手の中心になるのはやむを得ないが、将来を考えれば次の世代の担い手の発掘が必要。東町全体で行われる夏祭り、文化祭、運動会などのイベントをうまく活用して、参加しやすい(地域デビュー)仕組みづくりが必要。</p> <p>○若い人が無理なく参加したくなる活動つくる (例)せんりこどもカーニバル</p> <p>○以前からの住民と新しく住み始めた人との溝を取り除くことが必要、出来るだけ若い人に担い手となってもらうようバトンタッチをする。以前からの方達は皆様高齢となりつつあるので若い人に取り込む</p> <p>○担い手を子供たちにまでひろげてはどうでしょうか。子供たちの才能をもっともっと有効に利用することで、子供たちも社会に貢献できる喜びを覚え、自然に地域の中での活動に参加し、担い手になっていくのではと思います。これも子育て(子供の魅力を引き出し、ほめる)のひとつであり、それぞれのテーマにつながりがもてるのでは。</p> <p>○自治会主催の行事に会員の人たちに参加して[もらう]のではなく、もっと皆を巻き込んで大勢の手で作りあげるとい形ができないかと、いつも思います。</p>	<p>○地域の役割分担組織をシンプルでかかりやすく</p> <p>○無理なく参加できるような仕組み</p> <p>○無理なくできる範囲でやってもらう</p> <p>○地域活動の担い手不足、高齢化が今の問題。新しい担い手の発掘や参加しやすい仕組みづくりが必要。</p> <p>○役員の固定化、高齢化が顕著。早急に若手の育成を。</p> <p>○ボランティアに参加しやすいきっかけづくり。中壮年に限定せず、「こんなこと誰か出来ませんか？」的なボランティア広報を広報紙に掲載してみたらいかがでしょうか？</p> <p>○多様なイベントの実施</p> <p>○一人一活動運動○自治会役員を卒業した人達が担い手になるよう自治会負担を少なくしつつ、やって良かったと思えるような自治会にする。(行事の時住民参加が少ないと役員としてはがっかりするので積極的に参加する)</p>

■東町として今後取り組むべき課題

1. 地域の役割分担、組織をシンプルでわかりやすく(「アダプト」「街角」わかりにくい)
2. 多様なイベントの実施(若い世代から高齢者まで参加できる)
3. 若い人が無理なく参加したくなる活動をつくる(スポーツ、自然保全)
4. イベントサポーターをつくる(中高生、大学生参加、親子参加など)
5. 中壮年がボランティアに参加するきっかけづくり
6. 無理なくできる範囲でやってもらう
7. 一人一活動運動、できることの登録制度

東町地域活動拠点(情報デリバリー拠点)作りの試案

1. 試案の主旨

東町には約 40 の団体が設置され、それらの大半の活動は、東丘小内のコミュニティルーム (CR) や東町会館等をそのつど借用して行われている。

CR は施設管理面、東町会館は料金面から誰でも必要なとき使用できるわけではない。

従って、地域活動に必要な文書の印刷・配送準備などが個人宅で行われることも多々生じる。

ついては、東町の全ての団体、全ての個人が使用できる地域活動の拠点として、東丘住宅建替組合が活動終了した跡地を借用して拠点を設置することを検討したい。

2. 地域活動拠点のイメージ

- ・基本的には年中無休、いつでも誰かがいて印刷等の依頼受け、その他の相談受け
- ・広報紙「ひがしおか」の編集室(ネタの収集・編集・印刷・配送準備・配送)
- ・東町の諸団体、各自治会の文書類の印刷・配送準備・配送作業の有償受託
- ・諸団体の紙文書・Fax・Mail 等の受信拠点
- ・アドプロード清掃活動の拠点
- ・地域活動の一環として全ての団体・個人の交流場所、情報受発信基地
- ・将来、印刷・配送の NPO 組織を設立し、ここに事業場を置く
- ・2012 年度内についても利用できる目途がつけば仮設置する

3. 拠点作りを成案するための方策

準備委員会を設置し、東町のニーズの把握、拠点に必要な設備類の検討、予算などを具体的に検討し、来年度地域自治協議会事業計画の1つとして理事会に答申する

(1) 準備委員候補

- ・委員長は若手層にお願いしたい
- 委員として
 - ・理事、代議員の内、参加協力頂ける方
 - ・コミュニティルーム運営委員長
 - ・広報部会長
 - ・協議会事務局

(2) 活動期間

- ・2013 年 1 月～3 月

(3) 活動目的

- ・賃借料を含む全収支を試算し、協議会 2013 年度予算計画としてまとめる

(4) 活動範囲

- ・東町地域活動拠点の利用ニーズの調査
- ・拠点としての規模、内外装、什器・設備機器の設置等について検討
- ・賃借契約について折衝(東新商事から1階部分約 25.65 m²を賃借する)
- ・諸々の経費と収入を積み上げ、2013 年度協議会予算としてまとめる

以上

「新千里東町地域づくりビジョン」に対する住民意見

全体ビジョン **住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町**

■各自治会からの意見

1 ア	<p>○各テーマのビジョンは比較的簡単なことばでわかりやすい表現になっていると思う。</p> <p>○今後、最優先で行うべき取組みをいかに実行に移していくか、どの組織が中心となって推進していくかは、東町の各団体の特性を活かして、得意分野を持った特定団体に推進をゆだねていけばいいと思う。</p>
2 ガ	<p>○各自治体での広報紙に継続的に活動状況を載せることと、合わせて、年二回程度の状況説明会(生の意見も聞ける)を行う。</p> <p>○やれることから一つずつやって行く。</p> <p>○B棟やC棟にある素朴な雰囲気のパークは子ども達のいい遊び場でもあるので是非残してほしい。残すことが無理であればどこかに作ってほしい。</p> <p>○ビジョンは個別の取組みについてよく練れた内容だと思いました。しばらくは大変なお仕事が続くと思いますが応援しています。</p>
3 ジ	<p>○マンションごとの取組み方が違うので意見となるかどうかわかりませんが今一急がれるには、防災に関する事項かと思います。組織作り、備蓄や避難所の整備、マニュアル作りです。また高齢者の見守りにしてもわれわれ住民だけにするべきなのか。市役所はどこまでやってくれるかがわかりません。要請すれば動いてくれるのか、あくまで住民の力であるのかわからないのですが、これは市の仕事これは住民の取り組める仕事とわけることから始めることが大切と思われまます。</p> <p>○住民の意識以上の街はできない。東町の一人の住民として自分に何ができるのかと問うことから始めよう。</p>
4 桜	<p>○これまでの東町の活動は、連協を始め各団体は、トップダウンによる連絡・周知と協力要請にとどまってきた。新しい地域自治組織が誕生すると、自治会や住民のニーズをくみ上げるボトムアップが実現すると期待される。将来的には、地域自治組織が課題解決型の機関に発展してほしい。各団体の中にはいろいろな意見はあるようだが、4月スタートに向けて積極的に参画してゆきたい。</p>
5 U	<p>○どのコミュニティーにもよくいる、いわゆるどうしようもない困った大人(たいていは“おじさん”)。その近くに住む人は特にひどい迷惑を受けています。こういう人にどう対処し改善できるのか、皆で考えたい。</p>
6 東	<p>○子育てにはマナーとルールを厳しくしつけをし東町の誇れる子育てには、先ず大人が模範を示すこと。子どもは、親の背中を見て育つと言われる。</p> <p>○例えば福井県で原発事故が発生した場合、飲み水、避難場所の問題等の事を考えると、子育ても老人の問題も安全、安心であっての事です。</p>
7 メ	<p>○高層マンションが続々と新築されており、若年世帯が増加することは幼少年人口が増加してくることと予想されます。東町全体では平均年齢が若返るなかで、居住人口が増加していくことを見越して幼年から老人までの各世帯が楽しく元気で暮らしていける街づくりを目指すのが良いと思われまます。現実には、反対に公園とか公園に準ずる広場などの「平場(原っぱ)」の面積が減少しているのが心配されます。</p>

【記号の見方】ア:アーバンライフ、ガ:ガーデンヒルズ、ジ:ジオメゾン、桜:桜ヶ丘メゾンシティ、U:UR(都市再生機構)、東:東町3-3、メ:メゾン千里、ロ:ローレルコート

子どもがのびのびと育ち、子どもの親が安心して育てる事ができるまちづくり

■取り組み

- まちの点検活動（遊び場中心にルール確認、どこの公園でどんな遊びができるのか、してはいけないことなど）
- 未就学児や家族の情報交換の場や機会をつくる（きっかけづくり、気軽に参加できる工夫など）
- 子どものSOSを地域ぐるみで見守る
- 子どもの居場所づくり（小学校校庭の一般開放など）

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 東	学校、家庭、地域が一体となった教育を推進し、子どもの親が安心して育てることができるまちづくり	○子育て支援策として、保育の発想を変えることが必要。 シニア世代の子育て参加を考えること	○専門保育スタッフによる一時保育(有料)も行う子育てサポートチームの設置
2 ジ	猫の手もよいというのが？ はずしても良いのでは？	○テニ横広場を整備し、遊具を置き、小さな子ども達が安心して遊べる場所をつくる ○問題点(取組み項目)の絞込み。充足しているもの、充足すべきもの分類すれば焦点が定まって来る(既組織を含める)初年度はあれもこれもと欲張らないこと	○まちの点検活動 ○子どもがのびのび育つ環境作り ○交流する機会の少ない未就学児や家族の情報交換や交流の場や機会をつくること ○ファミサポの普及、街角広場の子ども向け対応(バリアフリー、トイレ、おむつ替えスペース等)の子をもつ親への配慮 ○子どもの居場所づくり(小学校校庭の一般開放) ○小学校高学年の時間外学校がほしい ○テニ横広場はジャリが多いので整地する(市へ要請) ○各自治体が課題を取り上げてまず動かしてみること。それは東町全体の共通課題でなくともよい。動かすことによって問題がクリアになる
3 メ	なし	○「子供の居場所づくり」に関連して 子供が自由に伸び伸びと跳んだり、走ったり出来る場所を確保する。	○街の点検活動 1)交通の用心、2)誘拐犯、性犯罪者の徹底排除

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
4 ロ	なし	なし	○子どもの居場所づくり(小学校校庭一般開放)
5 ガ	なし	○子供たちの要望を把握する活動。親の立場でなく、子供たちが「何をしたいのか」「何をやりたくないのか」を性別、年齢別に掴むことが必要では？	○地域の中では安全安心して過ごさせたい。 ○親の考え方はある程度イメージが出ていると思いますが、子供達の要望を知った上で取り組んだ方がスムーズに進みそうな気がします。 ○まちの点検活動。
6 ア	なし	なし	○若い子育て世代の不安解消が大切！相談できる人的ネットワークが必要。
7 U	なし	○学校施設、学校の活用→<遊び場開放のPR> 子供教室の拡大(ボランティアを増やす:東町の元気な高齢者の方に依頼しては？これが子供と高齢者をつなぐ機会になり、高齢者が子供を見守り、子供が高齢者を見守る関係につながるとよい。 ○母親たちに共通し、最も関心のあるテーマで専門家を呼んで講演してもらおう。	○学校、家庭、地域が一体となった「子育て」促進。
8 桜	なし	○まち歩きは公園を新たに発見、子どもの遊び場(行動・学習範囲)が広がる ○それぞれの遊び場のルール(ダメなもの、遊んで良いもの)の点検と周知 ○桜ヶ丘団地の街角広場を子育てママのたまり場として解放する ○桜ヶ丘団地の管理集会室を子どものための集会(歓送会)に無料利用を認める	なし

孤立化しないまち

■取り組み

- 高齢者の暮らしの実態調査、意識調査の実施（高齢者アンケート、暮らし、孤独を求める人など）
- 既存組織と各自治会が連携したしくみづくり
- 民生委員の各自治会支援組織づくり
- 老人会の再組織化と東町全体でのつながりづくり
- 敬老会の見直し（「高年成人式」など）

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 ア	『孤立化させないまち』 …高齢者をバックアップしていく主体は全住民である。高齢者が孤立化しないのではなく、孤立化させないまちにした方がいいのではないか。	○各自治会内に高齢者を見守る機能と老人会組織の立上げを促す。 …高齢者を孤立化させないためには積極的な関わりが必要であり、自治会の役割が非常に大きい。各自治会内に高齢者や身体の不自由な方の把握(名簿)、非常時の安否確認の徹底と訓練等の機能を備えてもらい、シニア会の結成を促し、他のシニア会との横のネットワークをつくる。	○自治会でも高齢者や身体の不自由な方の把握をしてほしい。
2 ガ	孤立化しないのは最低限の活動で、プラス「生き生き活動できる」まちが必要。	○シニア連絡網の会とか趣味の会の活動を強化する取り組みが必要では？	○高齢者の暮らしの実態調査の実施 ○敬老の集いの内容の見直し
3 ロ	ビジョンの表現を「孤立しないよう互いに助け合うまち」変更したらどうでしょうか。	○民生委員と老人クラブまたはそれに類する団体との連携	なし
4 メ	働いている世代と退職者との生活リズムの違いから、接点として行事日程を調整して交流する時間が必要。2～3ヶ月前からの提示が必要。	○「老人会の再組織化と東町全体のつながり」に関連して身体全体を伸び伸びとゆったり大きく動かせる運動を普及させる。	○既存組織と各自治会が連携した仕組みづくり ～軽度な各種運動の定期的な講習会、体験会など。

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
5 東	高齢者が生き生きと活動しているまち	○世代を超えて共に学べる楽しさを実感できる文字通り「共育」をテーマにした独自のコミュニティ造り	○子どもからシニアまで満足できるイベント、交流会を行う
6 ジ	安心して暮らせるまち	○これは市の仕事になるかもしれないが、一人暮らしの高齢者の家の冷蔵庫やポットが一日使用されないと一定の場所に連絡が行き、見守りの人が訪問するというようなシステムは出来ないものでしょうか(留守にする時は連絡) ○テーマはすべて掲示されていると思う。あとは組織を動かして行く過程で新たな課題が見えてくる	○高齢者の暮らしの実態調査 ○どのようなことを求めているのかニーズ調査 ○高齢者の意識調査の実施 ○高齢者の孤立 ○老人クラブより強固な組織化、各自治体による定期的な集会によるネットワークの強化 ○一人暮らしの高齢者の割り出し ○各自治会ではまずは組織づくりをスタートさせる。それから輪を広げよう
7 桜	なし	○民生委員のサポート体制(桜ヶ丘団地に副民生委員を配置する)	なし
8 U	なし	○老人会にも入らず、民生委員の訪問も受け付けない一人暮らしのお年寄りがいますが、その人に何かあった時の連絡先、問合せ先の続柄又は電話番号は誰かが知っておくべき。 <独居の方の居場所づくり> 民生委員さんを通じて社会とつながっている、地域とつながっているという安心感も必要と思いますが、外に出られなくても何か楽しんで参加できる取り組みがあればと思います。 高齢の方から知恵や歴史など学ぶことはたくさんあります。その方達を敬い大切にする意味でも、独居の方や外出のままならないお体の不自由な方でも口頭でいろいろなお話をうかがうことができると思います。東町に住む先輩方の培ってこられた様々な歴史を教えていただき「ひがしおか」のような新聞作りはできないか？絵の上手な方は挿絵に参加など。子供でも読めるように分かりやすくし、街角広場に置くだけでもいいのでは？	○高齢者、老人クラブのネットワーク(行政、自治会との連携)

住民どうしのコミュニケーションを高め、防犯、防災の意識の高い東町

■取り組み

- 校区全体の組織づくり（年一回は全体訓練など）
- 母体となる各自治会単位での活動の活性化
- 各自治会で「見守りリスト」の作成（非常時持ち寄れば校区全体のリストになる）
- 情報の共有

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 東	安全で元気に住み続けられ、住民の防犯、防災意識の高い町	○災害に強いまちづくり、様々な障害者への伝達、誘導の方法を考えること ○自ら防災力を高めて備えよ	○地域全体での防災訓練が必要
2 ア	なし	○東町全体での防災訓練の実施。 ○実際に避難所に避難してみて、非常食や水の備蓄確認や災害グッズの使用方法を学ぶ機会をつくる。	○東町全体での防災訓練の実施。 ○実際に避難所に避難してみて、非常食や水の備蓄確認や災害グッズの使用方法を学ぶ機会をつくる。
3 ジ	なし	○災害用の備蓄をし、年一回炊き出し訓練又は賞味期限のきた缶詰め等の試食会をする(納涼祭のかわりにしてもよい) ○家庭内で災害時の安否確認は話し合われているか？(まず最小単位から) ○千里中央(ショッピング中など)での防災が欠けている	○校区全体の組織作り ○マンション毎の備蓄、マニュアル作り、組織作り ○防災情報の共有 ○夜間照明、見通しの良さ ○街灯を増やす
4 U	なし	○自力(自分及び家族)・共助(隣、高齢者、自治会)・公助(行政、消防、警察他)の役割分担の明確化。	○東町全体の防災体制。活動の確立。 ○防犯→自転車の交通ルール指導

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
5 ガ	なし	○啓蒙活動の実施	○防犯体制は一定以上確率出来ているので防災体制を高めたい。 ○母体となる各自治体単位での活動の活性化。 ○情報の共有。
6 メ	なし	なし	○母体となる各自治会単位での活動の活性化 ～子供達に多種多様な運動環境を与える。
7 桜	なし	○避難場所(一次・二次)の周知→ハザードマップの作成と配布 ○もみじ橋通りを明るく安全な(夜間照明・雑木林の整備)場所とする ○当面の重大テーマである防災対策を新地域自治組織が主体的に取り組むことを期待 ○八中横の通りから赤信号を無視して側道に曲がりこむ事例が散見される、そもそもこの交差点の通行ルールが分かりにくいので明確にし、徹底をはかる	なし

子どもがのびのびと高齢者が生き生きと活動できる東町公園にしよう

■取り組み

1. 花を植えたり公園を整備したり
2. ボール遊びができるように遊具の整備を
(子どもたちによる秘密基地づくり、スポーツイベントなどの実施)
(年配の方が公園を利用することで、子どもたちへの利用意識を啓発)

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 東	老いも若きも生き生きと活動できる東町公園	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな緑、ゆとりのある住環境の継承を目指して「再生」をテーマにしたまちづくり ○東町はバリアフリー化が遅れている。環境はよいが坂が多く移動が大変 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の芝生化でより親しまれる場になりつつあるがもっと利用できるよう開放してはどうだろうか
2 ジ	赤い鳥居はどうかという落書に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○東町公園をバリアフリーにし歩き易い公園にする ○桜の木を増やす ○ごみがない東町を(空き缶、たばこ、ポリ袋etc) ○歩行者は左側を ○好き勝手に歩いている人が多く衝突しそうになるまで避けない人もいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○花を植えたり公園を整備したり ○公園や林の維持管理 ○公園の整備 ○防犯、危険箇所への対応 ○歩き煙草禁止のモデル地区 ○階段をなくしベビーカー、車椅子で来られるようにする、所々穴があいており、危険なので平らにする(市に要請) ○バリアフリー問題は平成25年度までほぼ改善点は豊中市で決定されている。残りのテーマの最優先は？

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
3 ア	なし	○自然環境の象徴である東町公園の整備。 …公園が荒れている(雑木林、公園のフェンス、長谷池等)という意見が多く、誰でも(子どもから高齢者まで)気持ちよく利用できる安全・安心な公園の整備が必要。	○雑木林、公園のフェンスの整備、長谷池の清掃。
4 ガ	なし	○バリアフリーに取り組んでいただきたい。 ○バリアフリー対策も	○秘密基地づくり(年齢、性別関係なくグループとして楽しめる。) ○バリアフリー
5 メ	なし	○子供と老人と一緒に遊んだり、唄ったりする機会をつくる。	○場所:店舗スペースの貸出し
6 桜	なし	○東町公園は蚊が多いので対処 ○東町公園がゲートボールやアメフトをしていて子どもが遊べない(利用ルールを明確に)	なし
7 U	なし	なし	○バリアフリーの充実 ○公園の整備。東町公園が暗くてひとけが少ないこと
8 ロ	なし	なし	○ボール遊びができるように遊具の設備を整える

東町近隣センターを使いやすく充実させよう

■取り組み

1. 車いす、ベビーカーで利用できるトイレの設置
2. お店の誘致（「かもめ食堂」みたいなのがあれば）
3. 場所、店舗スペースの貸し出し

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 東	センターで初の移転建替え計画が進む東町近隣センターは約100m東側の幹線道路の府道沿いへ移転する方針。駐車場も現在の約20台から大幅に増やす計画になっております	○建替え移転は第二の街開きです。建替え移転に当って近隣センターに充実の提案(使いやすく、利用しやすい)をすることが必要	○建替え計画に当っては設計の当初より要望書を提出、要望を計画に盛り込んだ再生の近隣センターにしなくてはならない
2 桜	なし	○近隣センターの建て替え後、東丘小北側の団地はますます遠くなる(対応)	なし
3 ガ	なし	○フリーマーケット、無料物々交換市(不用品の交換)、朝市などができる環境づくり(近隣センターにスペースはありそう)	○施設の改修、クリーンアップ ○車椅子、ベビーカーで利用できるトイレの設置
4 U	なし	○東町近隣センターを東町の情報、交流の場へ。 ○シャッターの閉じている店、空いているスペースを利用し、若い母親たちが中心になりフリーマーケットなどを開く。	なし

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
5 ア	なし	○近隣センターのバリアフリー化 …高齢者、身体の不自由な方、ベビーカーの利用に支障のないように段差の解消や、多目的トイレの設置が必要。	○近隣センターを、世代を超えた交流の場にしていくこと。
6 ジ	なし	○一階の空き部屋を集会室に変更し、足の不自由な人が来られる集会室に変える	○お店の誘致 ○車いす、ベビーカーで利用できるトイレの設置 ○トイレの改修(オムツ替え、温水) ○場所、店舗スペースの貸し出し ○空き部屋を住民に開放していただく ○近隣センターの建て替え(高齢者施設等の誘致)
7 ロ	なし	なし	○車いす、ベビーカーで利用できるトイレの設置

ていねいな情報発信で知りたい情報がすぐに伝わる東町

■取り組み

- 広報東丘、ホームページ、ブログの編集体制の強化
- 行事の場での広報活動
- メルマガの発行
- 街角広場の活性化

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 メ	<ul style="list-style-type: none"> ○提出した意見や提案に対してどのような経過が辿っているか回答がない。 ○提示板(東町)に提示が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当日参加もできる行事。例えば3月に「ひなまつり」、5月に「子供の日」、7月に「七夕」など、年間数回あればいずれかに参加しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ひがしおか」の充実。
2 ジ	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯のためのオートロックは大切。オートロックは近所づきあいの支障というのは？ ○回覧板は必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会単位の広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ひがしおか」ホームページ、ブログの編集体制の強化 ○実は地域のことを知らない ○ホームページの充実 ○今ある活動のアピール(現在よくできている) ○ひがしおかの充実
3 U	なし	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ひがしおか」に一般の町民の投書、意見などを載せる。 ○4団体以外の一般の若い方が誌面をいっしょに作っている感ももてるような取り組みをすると読者が広がるのでは。 	なし

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
4 ア	なし	<p>○東町で活動する各種団体の活動内容を知ってもらおう。 …東町では多くの団体が活動しているが、活動内容があまり知られていないように思う。(新年祝賀会での各団体からの挨拶で初めて活動内容がわかった団体が多かった。)まず、多くの人に活動内容を知ってもらい、支援や参加を呼びかけるべきではないか？</p> <p>体育祭や文化祭を通じてPRの場を設けたり、独自又は合同でイベントを開催して認知度を上げるようにしたらどうか？</p>	<p>○東町で活動する各種団体の活動内容を知ってもらおう。</p>
5 桜	なし	<p>○東町で知っていないことがいろいろあることが分かった。周知すべきことが多々ある</p> <p>○「第1回まち歩き」は完成度の高い企画でとてもよかった。気づいていないことに気づいたし、知ること、関心を持つことが大事であると再認識した。災害時非常食の試食を通じて、こうした備えがあることも認識した。</p>	なし
6 ガ	なし	<p>○高齢者の方のご配慮も。</p>	<p>○現在実施している広報活動(ひがしおかとか各自治体の広報紙)の充実。</p> <p>○高齢者の方のご配慮も。</p>
7 東	なし	<p>○向こう三軒両隣の精神を忘れてるのが現状で、支えあう地域社会にはほど遠い</p>	<p>○住環境の保持に努め、ルールを守り、マナーの良い地域社会を築き楽しい集団生活を送ることができるよう努めること</p>

日常のコミュニケーションから信頼関係が生まれ、自然と担い手が育まれる地域

■取り組み

1. 地域の役割分担、組織をシンプルでわかりやすく（「アダプト」「街角」わかりにくい）
2. 多様なイベントの実施（若い世代から高齢者まで参加できる）
3. 若い人が無理なく参加したくなる活動をつくる（スポーツ、自然保全）
4. イベントサポーターをつくる（中高生、大学生参加、親子参加など）
5. 中壮生がボランティアに参加するきっかけづくり
6. 無理なくできる範囲でやってもらう
7. 一人一活動運動、できることの登録制度

■各自治会からの意見

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
1 東	若い世代、自治会活動に参加して町のよさを知る町	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人が無理なく参加したくなる活動つくる (例)せんりこどもカーニバル 千里ニュータウンまちびらき 50 年事業 ○結論として、本人の積極性次第です。 ○若い世代、自治会行事に参加して町の良さを知る 	なし
2 ジ	若い人は活動に参加できれば参加してもよいと思っているが仕事、育児に忙しい	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の仕事は何なのか、週に何回、いつ活動かもはっきりすべき ○若い人は活動参加したくない？参加しにくいはずすべき ○以前からの住民と新しく住み始めた人との溝を取り除くことが必要なので、出来るだけ若い人に担い手となってもらうようバトタッチをする。以前からの方達は皆様高齢となりつつあるので若い人に取り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の役割分担組織をシンプルでかかりやすく ○担い手が不足、ないし将来不足する懸念 ○無理なく参加できるような仕組み ○無理なくできる範囲でやってもらう ○自治会役員を卒業した人達が担い手になるよう自治会負担を少なくしつつやって良かったと思えるような自治会にする。(行事の時住民参加が少ないと役員としてはがっかりするので積極的に参加する)

	修正すべき箇所	追加したい取り組み	最優先で対処すべき取り組み
3 ア	なし	○新しい担い手の発掘や参加しやすい仕組みづくりが必要 …時間に自由がきく高齢者が担い手の中心になるのはやむを得ないが、将来を考えれば次の世代の担い手の発掘が必要。東町全体で行われる夏祭り、文化祭、運動会などのイベントをうまく活用して、参加しやすい(地域デビュー)しやすい仕組みづくりが必要。	○地域活動の担い手不足、高齢化が今の問題。新しい担い手の発掘や参加しやすい仕組みづくりが必要。
4 U	なし	○担い手を子供たちにまでひろげてはどうでしょうか。子供たちの才能をもっともっと有効に利用することで、子供たちも社会に貢献できる喜びを覚え、自然に地域の中での活動に参加し、担い手になっていくのではと思います。これも子育て(子供の魅力を引き出し、ほめる)のひとつであり、それぞれのテーマにつながりがもてるのでは。 ○自治会が行事を主催し、会員の人たちに参加して[もらう]のではなく、もっと皆を巻き込んで大勢の手で作らなければならないかと、いつも思います。	○役員の固定化、高齢化が顕著。早急に若手の育成を。
5 ガ	なし	なし	○ボランティアに参加しやすいきっかけづくり。中壮年に限定せず、「こんなこと誰か出来ませんか？」的なボランティア広報を広報紙に掲載してみたらいかがでしょうか？ ○地域の役割分担、組織をシンプルでわかりやすく。
6 ロ	なし	なし	○地域の役割分担、組織をシンプルでわかりやすく
7 メ	なし	なし	1)多様なイベントの実施 2)一人一活動運動

新千里東町地域自治協議会設立趣意書

私たち、新千里東町の住民と団体は、地域に住まうすべての人々が安全安心に暮らしていける地域づくりを進め、「住んでみたい、住んでよかった、これからも住み続けたい東町」のビジョン実現をめざして、ここに、住民による、住民のための、住民の組織として、新千里東町地域自治協議会を設立します。

協議会は、東町を最も良く知る住民が東町のことについて自分たちで考え、話し合い、ベストを見出し、施策として実施してゆく仕組みです。

また、市の部局間の縦割り行政と全地域均一施策及び東町諸団体の連携不足がもたらすさまざまな弊害に対して、住民ニーズのボトムアップ、連携強化、そしてワンストップサービスを実現する組織でもあります。

設立後は、全ての住民の生活する自治会・管理組合を縦軸に、地域の諸団体を横軸に、それらの全てが参加する組織と、住民のニーズや気持ちを尊重する意思決定が出来る仕組みを構築し、段階的に発展、強化させていきます。

協議会の役割は、次の通りです。

- 東町のさまざまな団体の連絡・相互協力・連携の調整を行う。
- 東町ニーズを把握し、東町の課題を見出すことにより、東町の特性に応じた公共サービスを提供する。
- 東町を代表する、市との連絡調整・協働の窓口となる。
- 基礎的コミュニティ組織（自治会等）の規模では実施困難な課題に取り組む。

平成24年（2012年）4月22日

新千里東町地域自治協議会設立総会

東町ビジョン

全体ビジョン	住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町
子育て	子どもがのびのび育ち、親が安心して育てることができる、それを家庭、地域、学校などが連携して支えるまちづくり
高齢者	高齢者が生き生きと活動し、孤立化しない させない助け合うまちづくり
防災・防犯	住民どうしのコミュニケーションを高め、安全安心に住み続けられ、防災、防犯の意識の高いまちづくり
住環境	みどり豊かな公園、ゆとりある住環境、にぎわう近隣センターで老いも若きも生き生きと活動するまちづくり
情報発信・交流	ていねいな情報発信で知りたい情報がすぐに伝わるまちづくり
担い手	日常のコミュニケーションから信頼関係が生まれ、まちのよさを知り自然と担い手が生まれ、若い世代が参加するまちづくり